※令和４年度以降入学生用

学校番号	1010

令和８年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	精選現代の国語(東京書籍)						
副教材等	精選現代の国語　学習課題ノート(東京書籍)						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では、課題に対して、自ら考え、周りの人と協働で考える活動を行います。
・様論理的な文章を「読む力」を向上させるとともに「伝え合う力」を身に付け、実社会で使えるように「書く能力」も身に付けていきましょう。
・ノートは板書を写すだけではなく、話の中で大事だと思うことや気になったことを自分で書き留めておきましょう。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を使い、言語活動を通して、国語で的確に理解し、効果的に表現する資質・能力を育成する趣旨で、次の通り育成することを目指す。

⑴漢字や熟語といった国語の知識やそれを的確に用いる技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化への理解を深めることができるようにする。
⑵文章や話し言葉を正確に理解する力や、論理的に意見を発展させ、まとめる力、自分の意見を適切に表現する力を養い、国語によって物事への理解を深め、他者との交流を深めることができるようにする。
⑶思考や意見交流の場における言語の重要性への認識を深め、生涯にわたって国語力の向上を図り、他社や社会とよりよく関わる態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会における必要な国語の知識や技能を身に付ける。	論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中でコミュニケーション能力を養い、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉が持つ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の未来を支える担い手としての自覚を持ち、言葉を通して他者や社会と積極的に関わる態度を養う。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	対話 ［教材］ まだ知らない自分に出会う	a:[知]言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c:[主]進んで筆者の気持ちの変化や考えを理解し、学習課題に沿って自分の考えをまとめ、話し合おうとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	認識 ［教材］センスオブワンダー	a[知]:常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 b[書]:「書くこと」目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c[表]:粘り強く筆者の主張の要旨を捉え、自分の興味・関心を理解し、考えをまとめ、伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	文化 ［教材］水の東西	a[知]:実社会において必要な語句や語彙の量を増やし、豊かにしている。比喩、例示、言い換えなどの修辞や直線的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]:文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨を把握している。 c[表]:比較を通じて、「東西」の文化の差異への理解を深め、今までの学習を生かして他者に伝えようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	心理 ［教材］遊びが生じる場所	a[知]:言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]:読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c[表]:粘り強く「遊び」の定義を捉え、学習課題に沿って、「遊び」と「自己と他者」の関係について自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
二学期	時間 ［教材］時間と自由の関係について	a[知]:実社会において理解したり表現したりするために必要な語句の量を増すとともに、語句や語彙の構造や特色、用法及び表記の仕方などを理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 b[話／聞]:自分の考えが的確に伝わるよう、自分の立場や考えを明確にするとともに、相手の反応を予想して論理の展開を考えるなど、話の構成や展開を工夫している。 c[表]:粘り強く二種類の「時間の自由」「二つの時間」についての内容や筆者の意図を解釈し、学習課題に沿って人間の自由と時間について、筆者の主張に対する自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	哲学 ［教材］真の自立とは	a[：知]言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[話／聞]：自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明の仕方を考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現の仕方を工夫している。 c[表]：積極的に現代の状況に関心を持ち、筆者が述べる内容を理解し、自分の考えを深め、今までの学習を生かして「自立」という観点から他者と話し合いをしたうえで、自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	共生 ［教材］共鳴し引き出される力	a[知]：主張と論拠など情報と情報との関係について理解している。 b[読／聞]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c[表]：粘り強く筆者の捉える「能力」について理解を深め、今までの学習を生かして同じテーマの文章を読み比べ、自分の意見を整理しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	環境 ［教材］「無駄」と進化	a[知]：常用漢字の読みに慣れ、主な常用漢字を書き、文や文章の中で使用している。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c[表]：粘り強く筆者が挙げた事例の意味を読み解き、今までの学習を生かして筆者の意図を正しく理解しながら、自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
三学期	情報 ［教材］白	a[知]：実社会において必要な語句や語彙の量を増やし、豊かにしている。比喩、例示、言い換えなどの修辞や直線的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解している。 b[読]： 文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c[表]：積極的に筆者の示す「白」について理解を深め、今までの学習を生かして「新たな知の基準」に対する自分の考えをまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート
	実用文を読む ［教材］広く伝える言葉1	a[知]：話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色を踏まえ、正確さ、分かりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[読]：目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。 c[表]：進んでポスター広告の表現の工夫を読み取り、学習課題に沿って評価表を作成しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート 振り返りシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※令和４年度以降入学生用
※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間
・書くこと　…　（　３０　）時間
・読むこと　…　（　３０　）時間